

岐阜市の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

市とハローワークが連携して、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームにて職業紹介等を実施。

市

市役所庁舎内の提供

① 事業内容

- ・就職支援ナビゲーターより、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームで生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談や職業紹介を実施

② 協定・事業計画

- ・岐阜市長と岐阜労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を岐阜市と岐阜労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。

国

職業紹介・職業相談の実施等



この協定の締結により、生活困窮者の早期就職に向けた就労支援の強化・充実が図られ、自立への支援の一層の強化と利便性向上を実施。

(1) 実施体制

岐阜市

- ・ 面接相談員、就労支援員、キャリアカウンセラー、ケースワーカーを配置

国(ハローワーク岐阜)

- ・ 就職支援ナビゲーター2名を配置
- ・ 求人情報提供用のパソコン1台を配置

(2) 事業目標と取組状況(6年度)

事業内容	事業目標(年度)	取組状況 (令和6年10月末時点)
生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談、職業紹介等の実施	利用者数 2,000名 支援対象者数 180名 就職者数 258名 就職率 36.7% (参考)前年度目標 ・利用者 2,000名 ・支援対象者数 180名 ・就職者 203名 ・就職率 36.7%	利用者数 770名 支援対象者数 84名 就職者数 111名 就職率 16.7% (参考)前年同月実績 ・利用者数 964名 ・支援対象者数 88名 ・就職者数 159名 ・就職率 37.5%

一体的実施事業（岐阜市）による就職成功例

男性：50代 ・希望職種：ルート配送など

① 求職者の課題

・6年前に他県から岐阜に。その後すぐ生保となる。それ以降は就労なし。持病などはなく健康上の阻害要因は見当たらないが、出来ない理由を並べては就職を先延ばししているような状態が続いていた。

② 紹介の経過

・20年ほど公的機関の職員をしていた経歴があり働く能力は有しているが、仕事を選ぶなど逆にそれが邪魔しているところがあった。また自分ではないと言うがプライドもあり、出来る仕事はあるもののやりたい仕事が決定的ではなく、それを漠然と模索しているといった印象だった。そのため経歴については、そのこと自体は高く評価し前向きな表現でそれを伝えつつ、やりたい仕事についてはキャリアプランを立てていき、これまでの職歴や学生の頃の体験にまで遡って過去の経験を洗い出したところ、障害者とりわけ障害児に対する強い思い入れがあることが分かり、過去の経験とやりたいことを関係づけ、それを具現化していった。

③ 結果

・紹介就職 パート 放課後等デイサービスの児童指導員

④ 職業相談員の所感

・関心を持つ職種は見つかったものの、当該業務に必要な保育士や教員免許などは有しておらず、ましてや実務経験もないため求人自体はあるが未経験・無資格、女性希望などの理由で応募も出来ない状態だった。そこで目標達成への対策として、強度行動障害支援者資格をオンライン講習で取得可能な情報の提供や、先ずは送迎運転手兼用務員業務からエントリーし、面接時に本来の自分の思いを事業主に伝えることにチャレンジしてみるなどの行動に移行。その結果、本人の思いを評価してもらえ、未経験職種だったにも関わらず採用となり、試用期間中に児童や保護者から信頼を得ることが出来、児童指導員として正式採用となった。

⑤ 本人のコメント

・「未経験・無資格だったが意欲を評価してくれた。これからは障害児とその家族に寄り添えるよう頑張りたい」と報告に来所された。